

# インターネットディスクを利用した若手教員のための研修システムの開発と運営

～その2 担任教師の1年間 低学年編 を 中心にして～

東京教育メディア活用研究会

〒153-0064  
東京都目黒区下目黒6-11-35 目黒区立不動小学校内

## 1. はじめに

東京教育メディア活用研究会は、東京都町田市立教育研究所のコンピュータ関係の研究委員だった小学校・中学校教員有志で、平成15年夏発足した。現在は他地区の教員、講師、若手教員も参加している。会の目的は、現在の社会の進展や情勢、児童・生徒の変化や課題に対応する小学校での情報教育のあり方を研究し、授業改善を図れる指導方法や、教材、資料を紹介し、協同で開発して利用することである。平成17年度には「ネット教育指導用パッケージ」を上月教育財団の助成を受け開発し希望校に提供した。平成21年には明治図書から指導用コンテンツCD-ROM付きの、改訂版「小学校ネット教育簡単ガイドブック」を発行し全国利用を可能にした。

会は若い会員を迎える一方で、定年退職を迎えOBとして学校のサポートにまわるメンバーも出てきた。各校では、新規採用の若手教員や講師などの形で学校に勤務する若い教員が、児童生徒・保護者・同僚という3つの人間関係や、価値観や行動の多様な子どもに合った実践・対応が課題で、苦悩の上退職や病気休職になるケースも急増した。予算削減で教員のための研究・研修会は以前と比べ大幅に縮小され参加もしくなくなった。さらに以前は日常的に論議し、伝えあっていた自作開発教材や実践方法の紹介などは、時間や環境さえなくなって激減している。このような厳しい学校現場の中で、「学校知的財産」ともいべきベテラン教員の蓄積した実践に基づいた知識、技術等は、団塊世代の教員の退職とともに消滅しつつある。

会代表二見の勤務する不動小学校は、幼稚園を併設する都内目黒区の学校である。二見はここで若手教員と組んで1年生を担当し5年目になった。1年生の指導は小一プロブレムが今日的課題になっているが、その指導の方法や児童理解、保護者への対応は、他学年にない特殊性があり困難とされる。担任の指導が及ばず学級崩壊が生じるのも特別なことではない。一方教員側も、中学年や高学年の経験者は多いが、小学校1年生の経験を持つ教員は大変に少ない。即戦力が必要な教育現場では、若手教員は、中学年や高学年を繰り返し担任することが多いからである。そこで1年生の担任を対象にして、昨年に引き続き、実際の授業に役立ち、研修にもなっていく総合的な実践支援サイトの開発を続けていくことにした。

## 2. 研究の目的と方法

研究のテーマは、インターネットディスクを利用した若手教員のための研修システムの開発と運営である。意図するところは、全国の若い先生へ、ベテラン教員の身近な形での「先輩からの情報提供」と若手教員や若手講師の抱える課題の解決とを結びつけ、上記の学校の課題を解決していくことである。具体的な研究の目的は、若手教員の課題や疑問を収集し、これに応える形で、会員がそれぞれ自己の持っている知識や実践資料などをデジタル化しインターネットディスク上に保存蓄積し、検索しやすく分類して提供すること、及

びこのためのシステムの開発・運営である。今年度は小学校1年生の学級担任教師を対象にして、1年間の実践を支える総合的な支援サイトの開発をめざした。

### 3. 研究の方法

#### (1) 若手教員・若手講師を対象にした情報収集及び1年生児童の課題把握と対応方法の検討

昨年の研究で、若手教員が抱えている疑問、課題、苦悩などは収集済みであるが、今年度も引き続き収集し、システム開発に生かしていく。さらに1年生児童の行動パターンや思考パターンと、教員の対応、家庭の協力の効果、幼稚園や保育園からの育ちの連続性について継続的な観察と記録、アンケート調査を行い実態を明らかにしていく。

教員側と児童、さらに保育園や幼稚園、家庭といった4側面からの情報を研修システムの構築・内容資料の開発に生かしていく。

#### (2) インターネットディスク上での研修システムの構築と試行

①無料のインターネットディスク上に研修システムを構築し、各会員が作成した内容を分類して挿入する。情報量や内容、提供の方法とサーバー提供サイトの条件とのマッチングについて(今後の継続性や安全性、広告掲示条件など)検討する。

② 具体的に展開の方法が分かる動画や写真データ、ワークシート、解説資料を作成しデジタル化してサーバーに保存する。各会員の分担により資料や教材を作成する。

### 4. 研究の内容

#### (1) 若手教員や1年生担任を対象にした情報収集

昨年の研究から延べにして、初任から5年までの教員や元教員約20人、講師約10人に、主に面接法で、悩み、解決したいこと、ほしいと思う研修の内容、困難と思うことなどを聞いた。

また教員歴は長いが学級経営が思わしくいかず、学級崩壊したり、学級が落ち着かないという悩みを持つ教員5人からも情報を収集した。一緒に学年を組んだ教員の日々の支援や授業観察、学年合同で児童の指導にあたる中で(参加観察的手法)、1年生の指導で何が大変だと思うか、どんな行動に対してどのように指導し効果はどうと意識しているのか、児童理解や抱えている基準、方法などについて認識を変える努力や改善の努力にどう取り組んでいるか、教員として何を習得しなければならないのかといった本人も意識していない教員の成長という部分での情報も得ることができた。

#### (2) インターネットディスクを活用したデータベース型の研修システムの構築と内容資料の開発 施行

インターネット上に貸しスペースを提供し、ホームページ開設を助けるサービスがある。

ビデオクリップなども挿入できるように1GB以上の無料で安全なサービスを探した。GoogleやYahooなどのサイトでも、試験的に提供されていたが、次第に有料化されてしまった。表-1はサーバー無料提供のサイトである。当初Googleで試行の予定であったが、サイト側の変更が大きく、FC2とデジデジで試行することにした。ワードやエクセルと、JPEG、PDFのファイルを中心に提供資料や教材は作成し、リンク付けをした。図-1はトップ画面である。

「先生の実践応援ナビ」というホームページをつくったわけである。画面作成にはホームページビルダーを使用した。サーバー提供会社の特殊ソフトで作成すると簡単にできる利点はあるが、無料で利用できるサービスのため、サービス提供が終了した後は、作成したものが残らなくなってしまうおそれがあるからである。インターネット上での提供で無理な部分はDVD保存をすることにした。サーバーを代えての利用も範疇に

おいてのことである。久々のホームページビルダーの操作で、画面の作成にかなり時間を要した。

表-1 ホームページ作成のための無料サーバー提供サイト

提供サイト名	FC2	デジデジ	SiteMix	Holy Ring	Google
提供元	Mac	(株)ベット	パナソニック	宗教団体	Google
容量	1GB	2GB	1.5GB	申請後制限無	10GB
セキュリティ対策	×	×	×	×	テスト 期間終 了のた め1年 間のみ 無料 google page creator で作成 アップ
ファイルマネージャー	○	○	○	○	
接続方式	FTP	FTP	FTP	FTP	
アクセスカウンターなど	○	○	○	○	
PHP CGIプログラムの利用	×	×	○	×	
最大ファイルサイズ	?	3MB	?	申請	
独自ドメイン設定	×	1	△	×	
画像や動画・音楽 WEBアプリ使用	×	△	○	×	
メーリングリスト	×	×	○	×	
広告表示	なし	なし	あり	?	
その他				認可団体限定	

図-1 開発したホームページのトップ画面

図-2はトップ画面から続く選択画面である。大きく10の部屋に分け、「1.年間行事」の部屋からは、1年生の担任になった教員が、実践を具体的に展開できるよう、各月ごとや週ごとの週案簿を掲載してある。この週案に、教科や教科外の指導方法、ワークシート、展開の写真や指導案、ビデオ、各種資料がリンクづけられている。2～10までの部屋は、項目ごとに整理されていて、週案作成の過程でより詳しく情報を得たり、行事や出来事に際して児童に関しての理解を深め対応を選択したり、手法や表現を創造したりするた

めの基本的な情報を得ることができるようになっている。

図－2 開発したホームページの画面

1.年間行事	2.月別行事と指導内容	3.教科の指導	4.教科外の指導	5.学級経営 学級運営	6.小学校1年生の特徴	7.掲示 提示 環境づくり	8.保護者の協力を得るために	9.行事の発表のために	10.教材/教具/ICTの活用
4月	進ことの指導計画	国語	生活間の指導	・学級の約束	・身体的な特徴	年間を通した 掲示の計画	・連絡帳活用	・1年生を迎える会	・ICTの活用事例
5月	画(週案)			・係 当番	・運動面や体力面の特徴	教科の単元や 内容での掲示	・学級たより	・運動会	・ICTの活用注意事項
6月	4月①②③④	算数	道徳	・班決め	・精神的な発達(心・感情の面)	行事での掲示	・授業参観	・学芸会	・ICTの活用効果
7月	5月①②③④		特別活動	・そうじ	・理解力や応用力/言語力/知識	作品発表の掲示	・保護者会	・展覧会	
8月	6月①②③④	音楽		・給食指導	・自律/自立/友達との関わり	学習成果や作品の掲示	・家庭訪問	・学習発表会	
9月	7月①②③		学級指導	・トラブルを解決し人間力をつける方法	・感覚面の発達	児童の活動の 掲示	・面談	・その他	
10月	8月	図工		・児童が納得する指導方法		廊下や掲示板	・電話連絡		
11月	9月①②③④		家庭での生活	・児童理解のために			・トラブルのあった時に		・教材教具紹介
12月	10月	体育		・児童理解のために			・その他		・教材作成の例と保管
1月	11月			・宿題					
2月	12月①②③	生活		・その他					
3月	1月②③④								
	2月								
	3月①②③								

3月中頃タブレット型コンピューiPadの新機種が販売された。画像の鮮明さと無線ランの快適さが話題であったが、黒板全面に掲示した児童の作品を指の操作で拡大し、文字をはっきりと読むことができる威力には驚いた。今回のシステムでリンク付けした写真資料は多い。吹き出しをみんなで書いて貼り付けたような児童の共同作品の写真もたくさんある。全体の雰囲気を知らせることはできても、個々の書き込みの内容を提示するには、ページ数も多く必要であった。しかしこの新しいメディアでは、実物と同様に全体の雰囲気も分かり、具体的な書き込みも分かる。教師が参考資料を見る他に、教室でプロジェクターを使い児童に例を提示するなどの方法で使うことも可能だ。



図－3 iPadの新機種による画像と拡大画面

5. おわりに

1年生担任に限定しての開発と試行であったが、容量の大きい総合的な実践支援システムがインターネットディスク上にアップロード可能であることが分かった。また新しいタブレット型メディアの導入で利用も広がる見通しを得た。今後はデータの蓄積や使い勝手の良さを考慮して、有料サイトに移行し、安全で見やすく使いやすい支援サイトの開発と発展を図っていきたい。